

第11回道路橋床版シンポジウム 参加者の注意事項

土木学会鋼構造委員会

道路橋床版の点検診断の高度化と長寿命化技術に関する小委員会

2020年10月

目次

- はじめに-----2
- 全参加者の注意事項-----3
- 口頭発表者の注意事項-----5
- 座長マニュアル-----6
- 参考資料-----8

はじめに

第11回道路橋床版シンポジウムでは、ウェブ会議サービス『Zoom』（<https://zoom.us/>）を利用したオンラインでのシンポジウム開催を試行します。ここでは、口頭発表者、聴講者、座長のための注意事項を説明します。

Zoomの使用方法については「第11回道路橋床版シンポジウムZoom使い方マニュアル」や、ZOOM公式のヘルプセンター（<https://support.zoom.us/hc/ja>）をご参照ください。

※本マニュアルは、土木学会応力力学委員会応用力学シンポジウム（オンライン開催）で作成されたマニュアルを参考にしました。

全参加者の注意事項（1）

1. 参加者名の設定をお願いします。

座長が発表者，聴講者は誰か識別できるように，氏名・所属の情報を含むようにしてください。ご自身の表示名は会議室に接続後でも変更可能です。

【例】

座長：【座長】土木太郎（どぼくたろう）_〇〇大学

口頭発表者※：【発表者】XX_土木花子（どぼくはなこ）_△△大学

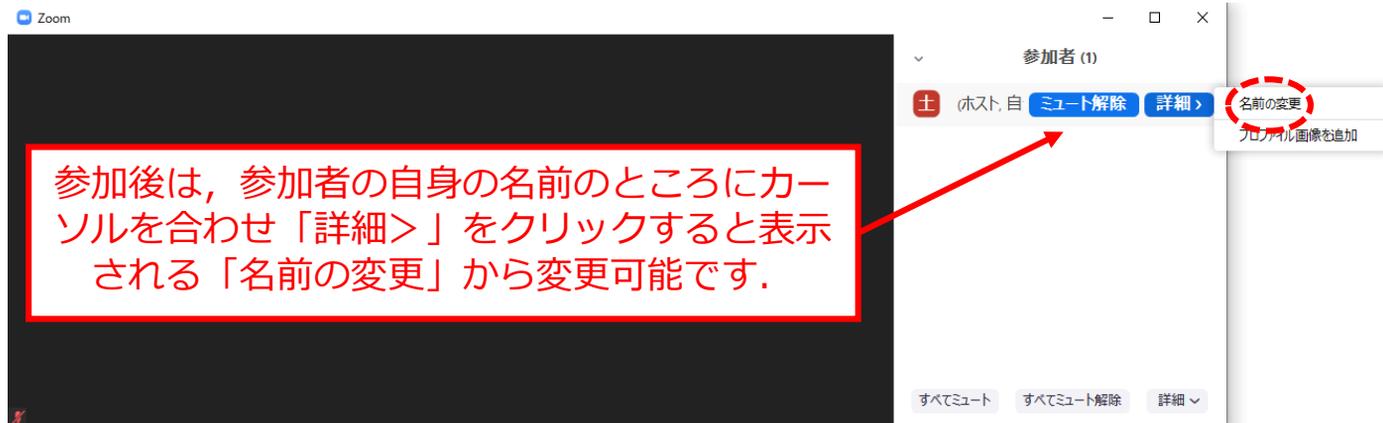
聴講者：土木次郎（どぼくじろう）_■ ■大学

※ 口頭発表者の "XX" は論文番号（7～8頁参照）



ミーティングIDを用いたミーティングへの参加時には，左図のように参加名の入力欄が表示されるため，変更してください。

※URLから参加した場合は表示されません。



全参加者の注意事項（2）

2. 配信映像の録画・録音は絶対に行わないでください。
3. ミーティングID, パスワードは第三者に知らせないでください。
4. 必ず事前に接続, マイク, カメラ設定の確認をしておいでください。
※座長, 発表者, 聴講者（質問中）はカメラの使用を推奨しますが, 必須ではありません。
5. Zoomアプリで「アップデートの確認」を行い最新バージョンにアップデートしておいでください。
6. 発言するとき（発表・質疑）以外ではミュートONに設定してください。ノイズ防止のためです。
7. シンポジウム開催中の緊急連絡先：
事務局：

小松 E-mail: komatsu3762@cripei.denken.or.jp

TEL: 080-3024-6853

本間 E-mail: mh937@docon.jp

TEL: 080-1895-0513

座長・発表者の方へのお願い
各自のPCで発表を行っていただきます。土木学会の会場は無線LAN、有線LANいずれも使えますが、有線LANが使用できるノートPC持参を推奨します。

発表者の注意事項

1. セッション開始10分前までに入室してください。
2. 登録時と発表者の変更がある場合（代理発表）は発表の冒頭にその旨を述べてください。（例：〇〇に代わりましてXXが発表いたします。）
3. MSパワーポイントを利用する場合、発表者ツールではなくスライドの画面が共有されることを確認しておいてください。
※デュアルディスプレイ環境の方はご注意ください。
4. 座長の指示に従い、発表資料を画面共有してください。
5. ご自身の発表が開始直前に、ビデオON（推奨）、ミュートOFFの設定となっていることを確認してください。
6. 発表に音声付きファイルの使用等、PCの音声を共有する必要がある場合は、画面の共有時に「コンピュータの音声を共有」のチェックを必ず入れてください。
（Zoom簡易マニュアルp.16参照）
7. 発表時間終了後、「共有の停止」ボタンを押して画面の共有を終了してください。
8. 発表時間の計測はご自身のPCの時計等をお願いします。予鈴はございません。（発表12分、質疑7分の合計19分）
9. セッション中は常に待機してください。
10. 発表者に不具合（共有画面・音声等）が発生した場合、発表順の変更を行う可能性があります。
11. 質疑への積極的な参加をお願いいたします。
12. セッション中に何か不具合が生じ、解決できない場合はチャット機能で状況をお伝えください。対応案を事務局より指示します。
13. 著作権への配慮
 - 画像や文献の出典を明記してください。
 - 学会でのオンライン発表は自動公衆送信による再送信とみなされます。

座長マニュアル

1. 全体について

- ・発表時間の管理方法について、タイムキーパーはつきませんので、座長に一任します。パソコンの時計、タイマー等を用いて適切に管理してください。

2. セッション開始前

- ・セッション開始 10 分前に、座長が発表者の参加をマイクでチェックしてください。

- ・以下を発表者にアナウンスしてください。

- ・「発表の録画・録音は行わないでください。」
- ・「発表時、質問時以外はマイクのミュートを必ずOFFにしてください」
- ・「発表時間は12分、質疑7分の合計19分です。」
- ・「発表者の変更がある方は、申し出てください。」
- ・「質問には積極的に参加してください。質問がある方は“手を挙げる”機能を使って、座長にお知らせください。質問の許可が出たら、マイクのミュートをOFFにして、所属と名前を名乗った後に、質問をしてください。質問が終わりましたら、再びマイクのミュートをONにして、“手を降ろす”を押してください。」
- ・「トラブルが生じた場合、チャット機能を使ってお知らせください。解決できない場合は、発表順を繰り上げる、スライドの共有のみを座長側で行うなどの対応をする場合があります」

※発表者不在の場合は繰り上げて進行するため、発表者には時間の管理に注意してもらおうよう伝えてください。

3. セッション開始時

- ・ご自身の設定がビデオON（推奨）、マイクのミュートOFFになっていることを確認してください。
- ・セッション開始時に「セッション名」、「簡単な自己紹介（氏名・所属）」をお願いします。その後、発表を開始する旨をお伝え下さい。
- ・以下のアナウンスをお願いします。
 - ・「ZOOMの参加者名には所属と名前を併記するようにご協力お願いします」
 - ・「発表の録画・録音は行わないでください。」
 - ・「発表時、質問時以外はマイクのミュートを必ずOFFにしてください」
 - ・「発表時間は12分、質疑7分の合計19分です。」
 - ・「発表者の変更がある方は、ご発表のはじめに申し出てください。」
 - ・「質問がある方は“手を挙げる”機能を使って、座長にお知らせください。質問の許可が出たら、マイクのミュートをOFFにして、所属と名前を名乗った後に、質問をしてください。質問が終わりましたら、再びマイクのミュートをONにして、“手を降ろす”を押してください。」

座長マニュアル

4. 発表中について

- 演題・所属・発表者の紹介を行ってください。その後、発表者に発表資料の画面共有、ビデオをON、マイクのミュートをOFFにして発表を始めるよう指示してください。
- 発表中、聴講者のマイクのミュートがOFFの場合、マイクのミュートがOFFになっていることを確認するよう促してください。
- 発表時間を超過しても発表が続いている場合は、発表の状況を見て「時間を過ぎていますので、結論を簡単をお願いします。」等、発表を終了するよう伝えてください。
- 発表の終了後、質疑応答の時間に入ってください。質問がある方（“手を挙げげる”ボタンを押した方）がリストの上位に表示されます。（簡易マニュアルp.14参照）質問が特に出ない場合は、適宜座長からも質問をしてください。

5. セッション終了後

- 適宜退出してください。
- 次のセッション情報（セッション名、開始時間）をアナウンスしてください。

6. その他

- セッション運営について、本マニュアルでは不安な方は事務局（小松、本間）と事前の打ち合わせをお願いします。
- 不具合（共有画面・音声等）が発生した場合には、発表順を変更する、発表者の代わりに発表資料を共有するなどの対応をお願いします。
- 座長のPCに復旧不能な不具合（PCのフリーズ、ネット接続の断絶等）が生じた場合、復旧まで事務局が座長代理を務める場合があります。
- 想定外のトラブルには、事務局が対策案を講じ対応いたしますが、臨機応変な対応も、あわせてよろしくをお願いします。

参考資料

セッション番号	座長	論文番号	著者	タイトル	キーワード
① 計測、モニタリング、 輪荷重走行試験① 6件 【A系統】	岩手大学 大西 弘志	1	橋本勝文、塩谷智基、和田圭仙、河田直樹、上田憲寿	非接触弾性波検出による供用中のRC床版に対するSIBIE法の適用	SIBIE法、三次元可視化、弾性波、レーザードップラー振動計
		2	高峯英文、碓井隆、上田祐樹、上野佳祐、渡部一雄、二村大輔	AE法によるRC床版内在損傷補修効果の可視化	AE,RC床版内在損傷補修効果
		3	野口堅冬、安東祐樹、竹村浩志、松井繁之	輪荷重走行試験における載荷ブロックの形状とRC床版の疲労耐久性に関する検討	RC床版、輪荷重走行試験、分割型載荷ブロック、S-N曲線
		4	夏堀裕、石田雅博、岩谷祐太、松本直士、野田翼	電磁波レーダによる床版上面の水分検知手法の検討	電磁波レーダ、非破壊試験、床版水分検知、予防保全
		5	小野晃良、阿部忠、木村延久、高橋明彦	走行荷重が作用する取替RC床版の最大耐力および破壊メカニズムに関する実験研究	取替RC床版、走行荷重実験、破壊メカニズム、押抜きせん断耐力
		6	東山浩士、塚本真也、増戸洋幸	FWDを用いた床版の健全度判定方法に関する一提案	FWD、載荷点たわみ、たわみ面積、健全度判定区分
② 計測、モニタリング、 輪荷重走行試験② 7件 【A系統】	太平洋マテリアル(株) 大久保 藤和	7	茅野茂、山本貴士、服部篤史、塩谷智基、河野広隆	弾性波を用いた非破壊試験による鋼板補強RC床版の劣化評価指標の提案	輪荷重走行試験、AEトモグラフィ、劣化評価指標、弾性波速度
		8	藤田訓裕、岩本ちひろ、高梨宇宙、大竹淑恵、野田秀作、井田博之	散乱中性子を用いた床版内欠陥の非破壊検査システム	中性子、後方散乱、非破壊検査、小型加速器
		9	石川遼祐、大西弘志、岩崎正二、千葉陽子、八重樫大樹、木村如水	床版取替が小規模橋梁の振動特性に与える影響に関する一考察	床版取替、衝撃振動試験、健全度評価、小型FWD試験
		10	菅原智大、大西弘志、高橋明彦、千葉陽子、寺島紀瑛	床版取替した小規模橋梁の剛性変化に伴う日周期変動への影響に関する検討	床版取替、日周期変動、床版剛性
		11	八重樫大樹、大西弘志、岩崎正二、千葉陽子、石川遼祐、木村如水	小型FWD試験を用いた小規模橋梁床版の構造特性評価	小型FWD試験、橋梁床版、振動特性評価、FEM固有値解析
		12	尾西恭亮、小林貴幸、松本直士、野田翼、田中良樹	RC床版の電磁波による非破壊調査記録の解析処理	橋梁床版、土砂化、電磁波レーダ、地中レーダ
		13	葉栗、鈴木真、山下健太郎、藤井研一、寺澤広基、鎌田敏郎	鋼板接着された既設RC床版の衝撃弾性波法による水平ひび割れ検出に関する非破壊調査	鋼板接着工法、RC床版、衝撃弾性波法、水平ひび割れ
③ 合成床版、 プレキャスト床版、鋼 床版 6件 【B系統】	宮地エンジニアリング(株) 久保 圭吾	14	内田大介、森猛、曾我明	鋼床版デッキプレート溶接部の残留応力低減に関する一検討	鋼床版、デッキ進展き裂、残留応力
		15	滝本和志、田中博一、朱暁旭、大久保宣人、山本将士、東山浩士	軽量プレキャスト合成床版の鉄筋継手構造に関する実験的研究	プレキャスト合成床版、軽量コンクリート、分割施工、機械式定着
		16	三田村浩、植田健介、青木圭一、松本高志、松井繁之	超緻密高強度繊維補強コンクリートで上面増厚した鋼床版の疲労耐久性	鋼床版、疲労損傷、超緻密高強度繊維補強コンクリート、輪荷重走行試験
		17	北村耕一、松井繁之	鉄筋先端に孔あき鋼板を有するプレキャストPC床版の継手構造に関する実験的検討	プレキャストPC床版、床版継手、孔あき鋼板ジベル、静的載荷試験
		18	坂野昌弘、坂本千洋、白石祐一、小西日出幸、大森功一	Uリブ鋼床版のUリブ・横リブ交差部の疲労損傷対策の提案と検証	Uリブ鋼床版、疲労、当て板補強、新構造
		19	柿崎捷吾、大西弘志、堀合聡、星川翔	Uリブを有する鋼床版における疲労亀裂発生・進展に伴う応力振幅変動の検討	疲労亀裂、Uリブ溶接部、応力振幅、輪荷重走行試験

参考資料

④ 橋面舗装、 防水層、防 水技術 8件 【B系統】	奈良建設㈱ 佐藤 真一	20	山澤文雄 中村拓郎、松田伸吾、安中新太郎	床版の切削状態と防水材料塗布量の違いが各種強度や防水性能に及ぼす影響	既設床版、切削溝、防水材料、塗布量
		21	橋本雅行 山本誠、渡邊宗幸、岸良竜、小森篤也、三田村浩	道路橋床版の長寿命化を目的とした橋面コンクリート舗装に関する検討	橋面コンクリート舗装、道路橋床版、長寿命化、フィールド試験
		22	安井亨 植野芳彦、橋本雅行、梶尾聡、佐藤真一、橋吉宏	橋面コンクリート舗装の増厚オーバーレイ工法における耐力検討事例	橋面コンクリート舗装、増厚オーバーレイ工法、耐力照査、疲労耐久性照査
		23	渡邊 宗幸 古城誠、植野芳彦、橋本雅行、梶尾聡、橋吉宏	超速硬高靱性繊維補強コンクリートを用いた増厚オーバーレイによる橋面コンクリート舗装の適用事例	橋面コンクリート舗装、床版剛性、FWD、超速硬高靱性繊維補強コンクリート
		24	三浦康治 橋本雅行、榎園正義、小野秀一、岩生知樹、洲崎尚樹	道路橋床版防水層の健全性評価方法に関する研究	道路橋床版、防水層、健全性評価、電気抵抗
		25	郭度連 組永健一、荒井撰、中村俊一	低弾性ラテックス改質超速硬コンクリートを用いた橋面コンクリート舗装	低弾性、ラテックス改質、超速硬コンクリート、橋面コンクリート舗装
		26	寺田剛 渡邊真一、藪雅行	床版が土砂化した橋面舗装の調査報告	コンクリート床版、土砂化、橋面舗装、浸水位置、遮水性
		27	樋口勇輝 馬場弘毅、黄木秀実	コンクリート床版打設時に用いる養生剤が床版防水の性能に及ぼす影響	コンクリート床版、床版防水、養生剤、乾燥時間
⑤ 損傷、余寿 命、耐久性 7件 【A系統】	近畿大学 東山 浩士	28	林大輔 滝本和志、小林顕、伊佐政晃、岡本信也	グループ配置した高強度大径スタッドのせん断耐荷特性に関する実験的研究	頭付きスタッド、グループ配置、高強度大径
		29	中村拓郎 内田侑甫、安中新太郎	北海道の道路橋RC床版の土砂化と舗装の変状の関係	RC床版、土砂化、舗装切削調査、舗装の変状
		30	木内彬喬 阿部志、水口和彦、金子昌明、深水弘一	荷重分布鋼板を設けた伸縮継手装置の耐荷力性能	RCはり、荷重分散型伸縮継手、最大耐荷力、破壊モード
		31	石川一美 金尾茂樹、宮崎健次朗、吉本昌弘、松井繁之	高強度軽量繊維コンクリートを用いた道路橋床版の開発研究	高強度コンクリート、繊維補強コンクリート、軽量床版、低コスト
		32	Chi Hieu MA Pengu DENG, Takashi MATSUMOTO	Finite element analysis of on overlaid UHPFRC-strengthened steel bridge deck under moving wheel load	UHPFRC-steel composite deck, moving wheel load, bridging stress degradation, fatigue
		33	中島博敬 阿部志、野口博之、塩田啓介、吉岡泰邦、有園和樹	継手構造を有するメタルグリッド筋を配置したRC床版上面増厚補強法における耐疲労性	RC床版、メタルグリッド、継手構造、SFRC上面増厚補強、耐疲労性
⑥ 補修、補強 7件 【B系統】	住友大阪セメント㈱ 山本 誠	35	大久保誠 石井保、松井繁之、東山浩士、財津公明、三ツ井達也	下面増厚工法で補強された大垣橋RC床版の追跡調査と25年後の補強効果について	大垣橋、下面増厚補強、ポリマーセメントモルタル、追跡調査
		36	大田孝二	高速道路の床版改修とその施工条件	床版改修、高速道路、一般道、施工条件
		37	青野守 二村大輔、外園賢二	都市内高速道路における低品質RC床版の補修事例報告	床版補修、低品質コンクリート、再劣化、IPH工法
		38	安藤聡一郎 白水晃生、山浦明洋、大場誠道、丈達康太、富井孝喜、青木峻二	合成桁床版ハンチ部水平切断後の再合成に用いるすれ止め剤の合成作用に関する検討	床版取替、合成桁、すれ止め、再合成
		39	横山広 中村拓郎、樹谷浩、久保善司	道路橋床版の土砂化対策としての断面修復に関する実験的研究	道路橋床版、輪荷重走行試験、断面修復、ポリマーセメントモルタル
		40	牧野大介 芹沢尚一、平栗一哉、東田典雅、赤尾駿太郎、三田村浩	超緻密高強度繊維補強コンクリートを用いた床版上面補修による延命化対策	床版補修、超緻密高強度繊維補強コンクリート、超早硬化型、載荷試験
		41	中川原颯 大西弘志、盛合将和	9 接着接合により構成された道路橋GFRP床版の断面に関する基礎的研究	GFRP,slab,adhesive,cross section

参考資料

第11回道路橋床版シンポジウム プログラム

【講演・発表時間】 基調講演 : 60分
一般講演 : 20分/件(発表12分, 質疑7分, 準備1分)

	10月29日(木)		10月30日(金)	
	A系統	B系統	A系統	B系統
(9:30)	開会の挨拶および進行の説明【A系統】 9:40~10:00			
10:00	セッション① 【計測・モニタリング・輪荷重 走行試験①】 10:00~12:00 (6件)	セッション③ 【合成床版、プレキャスト床 版、鋼床版】 10:00~12:00 (6件)	セッション⑤ 【損傷、余寿命、耐久性】 9:40~12:00 (7件)	セッション⑥ 【補修、補強】 9:40~12:00 (7件)
11:00				
12:00	昼食休憩 12:00~13:00		昼食休憩 12:00~13:00	
13:00	セッション② 【計測・モニタリング・輪荷重 走行試験②】 13:00~15:20 (7件)	セッション④ 【橋面舗装、防水層、防水技 術】 13:00~15:40 (8件)	「委員会報告」【A系統】13:00~13:30	
14:00			「道路橋床版の維持管理マニュアル2020」に関する講習会 【A系統】 13:35~14:25	
15:00			休憩 14:25~14:40	
			「道路橋床版の長寿命化を目的とした橋面コンクリート舗装 ガイドライン2020」に関する講習会【A系統】 14:40~15:30	
16:00	休憩 15:40~15:55		閉会の挨拶【A系統】 15:30~15:40	
	基調講演【A系統】 植野芳彦氏(富山市政策参与) 15:55~16:55			
17:00	事務連絡等【A系統】 16:55~17:00			